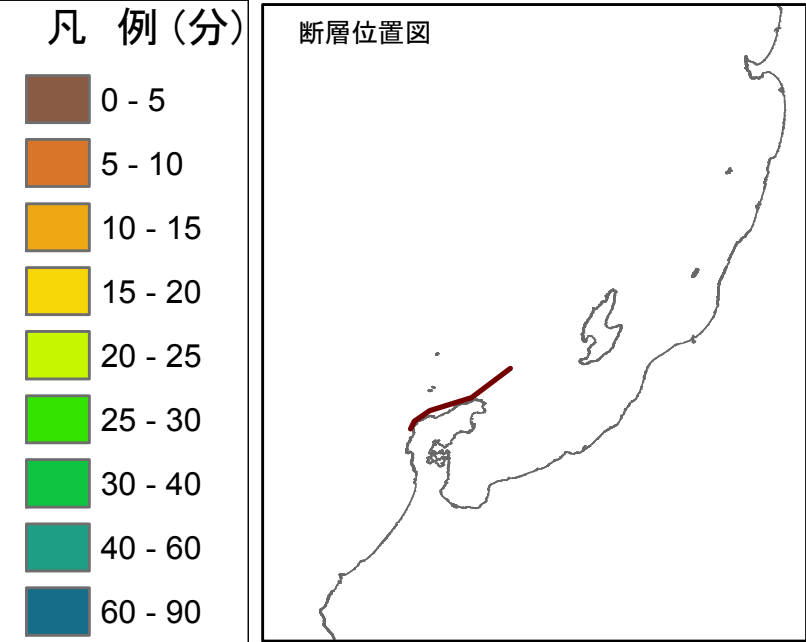
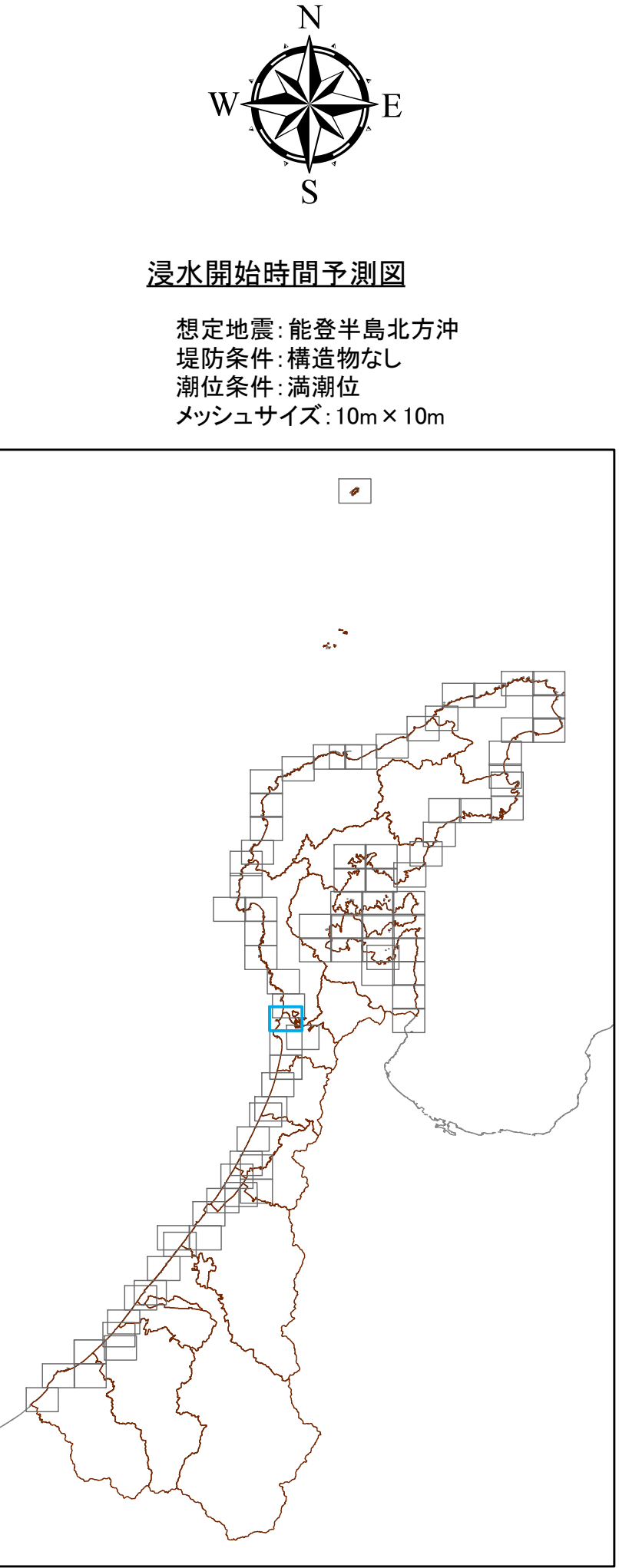




この津波浸水想定区域図は、能登半島北方沖を震源としたマグニチュード7.66の地震による津波の発生を想定し、陸域の浸水範囲などをシミュレーションした結果です。この区域図では、海岸線の護岸や河川堤防などの構造物がない場合を想定しています。

【活用に際しての留意事項】

- シミュレーション結果については、今回想定した波源による津波が発生した場合を想定したものであり、震源の位置等により、個々の地域においては、浸水域が拡大するなどの可能性があります。
- この地図をもとに津波ハザードマップを作成する場合は、上記 1) を考慮するため、関連するマニュアル類※を参考にバッファゾーンを設定するなどの工夫をしてください。

(※マニュアル類)
※「津波・高潮ハザードマップマニュアル」平成16年4月、内閣府防災担当ほか監修、財団法人沿岸開発技術研究センター刊
※「津波避難ビル等ガイドライン」平成17年6月、津波避難ビル等に係るガイドライン検討会および内閣府政策統括官（防災担当）刊
※「洪水等避難計画作成支援マニュアル」平成17年3月、石川県

この浸水想定区域図は、背景図として「羽咋市全図(1/10,000、平成10年・平成16年)」、「志賀都市計画図(1/10,000)」及び「富来町全図(1/10,000、昭和62年)」を編集・加工し利用したものです。

1:10,000

